

# 地域貢献ニュース

平成27年8月26日:Vol2 プロ野球観戦特集

## ◆プロ野球 千葉ロッテー日本ハム戦を学生が観戦



試合前、左手一本でボールを打つ練習をする中田選手（日本ハム）。学生たちはグラウンドに出て目の前で練習風景を見ました。

総合文化学科の学生16人と教員が19日、QVC マリンフィールド（旧千葉マリンスタジアム）で球場施設の見学とロッテー日本ハムの公式戦を観戦しました。この催しは総合文化学科と地域振興などで連携協定を結んでいる千葉興業銀行（千葉市）の招待により実現したもので、希望者を募って参観しました。当日は、開場時間前の午後4時に集合し、記者席などの施設を見学した後、人工芝のグラウンドに出て選手の練習風景を間近に見ることができました。午後6時15分から始まったナイターは、空調設備のある部屋とテラスが一体となったフィールドテラスルームで観戦。試合が終了した午後9時25分まで、全員熱心に見入っていました。



グラウンドに降り立って大喜びの学生たち。



記者席から見た試合前の練習風景。この後、中田選手はネット越しに学生に手を振ってくれました。

観戦した宮原彩恵さん（2年）は「本物の野球のすごさを目のあたりに見て、感動しました」と興奮した様子。群馬県出身の高橋麻希（1年）さんは「初めてナイターを見ました。球場のきれいに圧倒されました」と手放しの喜びよう。日本ハムファンだという宮澤咲穂さん（1年）は「中田選手の練習風景を間近に見ることができ感動しました。サインをしてもらえばよかった」と大喜びしつつ残念そうな様子。また、「野球のことは知らない」と言う木内沙紀さん（1年）は「フィールドテラスから見る球場の雰囲気素晴らしかった」と感動さめやらない様子でした。



空調の効いたフィールドテラス席で食事をしながら観戦。



テラス席は外気に触れて球場の雰囲気をたっぷり味わえる。



オーロラビジョンに映った観戦中の総合文化学科の学生たち。



応援席の聖徳大学の「和」がひと際目立ちました。



試合中にこんなアトラクションがあります。



試合前に球場内で記念撮影をしました。

### プロ野球 千葉ロッテマリーンズ公式戦観戦

今回のロッテマリーンズの公式戦観戦は、総合文化学科と地域貢献事業等で連携している千葉興業銀行（千葉市）が、連携取組の一環として、聖徳大学短期大学部総合文化学科の学生を招いてくれたことで実現しました。総合文化学科は、千葉興銀と千葉県食材見本市「千産千商プロジェクト」等、地域貢献に関連する取組を共催しています。